

特殊車両オンライン申請システム 環境設定CD-ROM・プログラム インストールマニュアル

申請者用

Ver.2012-03



| < | 目 | 次 | > |
|---|---|-------|---|
| - | | ~ ~ ~ | - |

| 1. はじめに | 1 |
|--|----|
| 2. 用意するパソコン・プリンター | |
| 2-1 パソコン | 3 |
| 2−2 著作権 | 3 |
| 2–3 プリンター | |
| 3. WWW ブラウザの確認 | 4 |
| 4. 必ずはじめにお読みください | 4 |
| 5. インストール手順 | 4 |
| 6. 環境設定 CD-ROM によるインストール | 5 |
| 6-1 環境設定 CD-ROM のセット | 5 |
| 6-2 セットアップメニュー構成 | 7 |
| 6-3 各インストーラの実行手順について | 15 |
| 7. Internet Explorer 利用時の設定 | |
| 7-1 Internet Explorer の起動 | |
| 7-2 HTTP1.1 の設定の変更 | |
| 7-3 Java Runtime Environment の設定 | |
| 8. システムの起動 | |
| 8-1 各種マニュアルについて | |
| 8-2 申請データの作成を行う方 | |
| 8-3 オンライン申請を行う方 | |
| 9. アンインストール(プログラムの削除) | |
| 9-1 申請支援システムのアンインストール | |
| 9-2 Java Runtime Environment のアンインストール | 41 |
| 9-3 申請データ送信アプリケーションのアンインストール | |

1 はじめに

本資料は、特殊車両オンラインシステムにおけるパソコン環境の設定方法を記述した ものです。環境設定は、以下の順序で作業を行います。但し、本マニュアルは Microsoft Windows XP の画面にて説明していますので、ご利用のコンピュータの環境及び使用 目的によって若干の相違があります。不明点が発生した場合は「特車運用事務局」(P13 参照) へお問い合わせ下さい。

◆はじめてご利用される方へ

申請方法によらず以下の準備をします

- ステップ1 :パソコンの用意
- ステップ2 :WWW ブラウザの確認
- ステップ3 : インターネット利用環境の確認
- ステップ4 :必ずはじめにお読みください
- ステップ5 :オンライン申請支援システム環境設定インストール
- ステップ6 : Java Runtime Environment 6.0 Update18 のインストール
- ステップ7 :自己署名証明書の取得
- ステップ8 : Internet Explorer 利用時の設定

オンライン申請の場合、インターネット FD 申請の場合、CD-ROM 版で作成した申 請データの再利用を行う方の場合、CD-ROM 版で作成したデータをオンライン申請に 読み込ませる場合、いずれの場合も「オンライン申請を行う方の場合」と同じ環境設定 方法にてご利用ください。

◆以前から利用されている方へ

旧バージョンの環境設定プログラム及び CD-ROM(以下「環境設定 CD-ROM」という。)をインストールしている場合は、以下のように旧バージョンをアンインストールしてください。

- ステップ0 :申請支援システムのアンインストール(本書9-1参照)
 - : Java Runtime Environment のアンインストール(本書9-2)
 - :申請データ送信アプリケーションのアンインストール(本書9-3)
 - * 以下、**はじめてのご利用の方**と同様な手順です*
- ステップ5 :オンライン申請支援システム環境設定インストール
- ステップ6 : Java Runtime Environment 6.0 Update18 のインストール
- ステップ7 :自己署名証明書の取得
- ステップ8 : Internet Explorer 利用時の設定

〔オンライン申請支援システムの環境設定方法〕



2 用意するパソコン・プリンター

2-1 パソコン

システムを利用するにあたり、クライアントパソコンに最低限必要とする要件(仕様) を示します。基本的には、以下のような要件を満たしていることが必要です。

日本語仕様の Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、もしくは Microsoft Windows7 がインストールされており、Windows が利用可能な状態となっていること。 インターネットが利用可能であり、Microsoft Internet Explorer 6.0、7.0、8.0、9.0 の WWW ブラウザソフトがインストールされていること。

※詳細については、P.8「(1)お使いになるパソコン環境の確認」をお読みください。

2-2 著作権

本ソフトウェアの著作権は、国土交通省が保有しており、日本及びその他の国の著作 権法ならびに関連する条約によって保護されています。本ソフトウェアには、国土交通 省に対するライセンス供与者が権利を保有するソフトウェアが含まれています。 本ソフトウェアはシステム利用者に対し、本使用許諾書に従い、非独占的に使用許諾 されるもので、本ソフトウェアの著作権が譲渡されることはありません。

2-3 プリンター

A4 サイズの用紙が給紙可能なモノクロまたは、カラープリンターが必要です。

3 WWW ブラウザの確認

特殊車両オンラインシステムを利用するためには、WWW ブラウザが必要です。 ・Microsoft Internet Explorer 6.0、7.0、8.0、9.0

上記ブラウザがインストールされていない場合、インストールを行ってください。

※Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における 登録商標です。

※Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

※本システムは、Apache Software Foundation により開発されたソフトウェアを含んでいます。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/)

4 必ずはじめにお読みください

ここでは、特殊車両オンラインシステムをインストールする前に確認していただく事項及 び、オンライン申請支援システムの関連情報が記載されています。

特殊車両オンラインシステムをご利用になる方は、 PR サイト:<u>http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/</u>のお知らせ事項を必ずご覧ください。

5 インストール手順

インストールの手順は、ご利用のコンピュータの環境及び使用目的によって異なりま す。詳細は後述のインストールの詳細手順を参照ください。

6 環境設定 CD-ROM によるインストール

特殊車両オンラインシステム環境設定 CD-ROM から、オンラインシステムの利用に 必要なものをインストールします。

環境設定プログラム (CD-ROM) のインストール方法を、まとめて環境設定 CD-ROM 版を例としてご案内します。

6-1 環境設定 CD-ROM のセット

あらかじめ、全ての Windows プログラムを終了してください。次に、環境設定 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。挿入しますと自動 的に、セットアップ・プログラムが起動します。起動しない場合は、マイコンピュータ ーを開き、CD-ROM ドライブをダブルクリックして開き、"setup.exe"を実行してくだ さい。

実行すると以下の使用許諾契約書画面が表示されます。必要に応じて使用許諾契約書 を印刷し、契約書の内容に同意した場合のみ「使用許諾契約の全条項に同意します」を 選択し「次へ」を選択します。使用許諾契約書の印刷は「印刷」を選択すると印刷され ます。同意しない場合は「キャンセル」を選択します。インストーラ終了の問い合わせ の後セットアップが中止されます。

| 国土交通省オンラインシステム(環境設定CD-ROM 平成22年2月版) | × |
|---|---|
| 使用許諾契約 | 4 |
| 特殊車両オンライン申請システムソフトウェア使用許諾書を次のように制定する。 平成22年2月15日 国土交通省 特殊車両オンライン申請システムソフトウェア使用許諾書 (目的及び定義) 第1条本使用許諾書は、国土交通省と特殊車両オンライン申請システムの利用者(以下「システム利用者)といいます。)との間の本ソフトウェアに関する使用許諾等について定めます。 (1)本ソフトウェア 本使用許諾書に基づき国土交通省がシステム利用者に対して提供する「申請支援シ ① 御用許諾契約の全条項に同意します(A) ① 使用許諾契約の全条項に同意しません(Q) InstallShield | |

※ 以下のような警告画面が表示された場合

ログインユーザが、Administrator(管理者)かどうかの確認を行います。 Administrator 以外の場合は、以下の画面が表示されます。

| 別のユーサ | ーとしてプログラム | ムをインストール | X |
|----------|---------------------|--|---|
| B | このコンピュータ ストールできま | 2の管理者特権がないと、一部のプログラムは正しくイン せん。 | |
| | 管理者アカウン 使ってプログラム | ットのパスワードがわかっている場合は、そのパスワードを ムをインストールできます。 | |
| • 1 | estUse¥TestUs | ser としてプログラムを実行する(R) | |
| C % | のユーザーとして | [プログラムを実行する(E): | |
| ユーサ | ;一名(山): | 🙎 Administrator 📃 📼 | |
| 1825 | i-k(<u>P</u>): | | |
| | | | |
| | T | | |
| 常に | lestUse¥lest | (User としてインストール フロクラムを美行する(A) | |
| | | OK キャンセル | |
| | | | |

Administrator 以外のユーザがそのままプログラムを実行した場合、警告画面が表示されます。「OK」で終了します。

必ず Administrators 権限のあるユーザでログインしインストールを実行してください。

| 国土交通 | 省オンラインシステム(環境設定CD-ROM 平成22年2月版) – InstallShield Wizard | × |
|------|--|---|
| 8 | アドミニストレータ権限のあるユーザーでログインして下さい。 | |
| | <u>OK</u> | |

6-2 セットアップメニュー構成

セットアップメニューの構成は以下の通りです。

| 国土交通省オンラインシステム(環境設定CD-ROM 平成22年2月版) メインメニュー | X |
|---|-------|
| 必ずはじめにお読みください | |
| | |
| 各マニュアルの格納フォルダ参照 | 1.238 |
| オンライン申請支援システムインフトーラ | 1.25 |
| | - 22 |
| Java Runtime Environment 6.0 Update 18 | |
| | _ |
| 自己署名証明書の取得 | 1997 |
| 終了 | |
| | |

6-2-1. 必ずはじめにお読みください

特殊車両オンラインシステムをインストールする前に確認していただく事項、及び 特殊車両オンラインシステムの関連情報が記載されています。必ずはじめにお読みく ださい。以下に概略を示します。

(1) お使いになるパソコン環境の確認

特殊車両オンラインシステムをインストールし、実行するために必要となるパ ソコンの性能が記述されています。インストール前に必ず確認を行ってください。 オンライン申請を利用するためには、以下の環境が必要になります。

| | ●800×600(SVGA) 以上 | |
|--------------------|---|--|
| 回 回 闻 衣 小 | ※1024×768(XGA) 以上を推奨しております。 | |
| CPU | ●Pentium II(300MHz)と同等以上 | |
| メモリ | ●64MB 以上推奨 | |
| ハードディスク空き容量 | \bullet 200MB \sim 600MB | |
| 表示色数 | ●256 色以上 | |
| | ●Microsoft Windows XP (SP3) | |
| 05 | ●Microsoft Windows Vista (SP2) | |
| 05 | ●Microsoft Windows 7(SP 非適用、SP1) | |
| | ※C ドライブにインストールしてください。 | |
| | ●日本語版 Microsoft Internet Explorer 6.0,7.0,8.0 | |
| WWW ブラウザソフト | ※上記の条件は推奨になります。推奨条件以外の環境では、正常に | |
| | 動作しない場合があります。 | |
| ネットワーク環境 | · トワーク環境 ●インターネット接続が可能なこと。 | |
| | ●オンライン申請を行う場合は、添付資料(車検証の写しや未収録経 | |
| 必要な周辺機器 | 路図など)を電子化できるスキャナ等機器が必要です。 | |
| | ※添付資料については、郵送や FAX で別送することも可能です。 | |
| | ●Java Runtime Edition 6.0 Update18 | |
| JAVA | ※上記の条件は推奨になります。推奨条件以外の環境では、正常に | |
| | 動作しない場合があります。 | |

■パソコン環境一覧表

環境設定 CD-ROM が提供する申請手段

申請手段についての簡単な説明と選択方法が記載されています。



申請手段は、<u>オンライン申請</u>及び<u>インターネット FD 申請</u>です。

.

(2) マニュアルの印刷

マニュアルの格納先と、マニュアルを見るために必要となるソフトウェア Adobe Reader(旧 Acrobat Reader) について記載されています。

インストールマニュアル、オンライン申請支援システム操作マニュアルは、環 境設定 CD-ROM 内の disk3 および PR サイト http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/へ掲載してあります。

(3) プログラムのインストール

各申請手段別に必要となるプログラムと、マニュアル内容が記述されています。

■申請手段とインストールプログラム

特殊車両オンラインシステム『環境設定プログラム及び CD-ROM (申請者用) Ver.2010-02 版』は申請書を作成する、印刷する、送信する為のプログラムです。

[オンライン申請支援システムを利用する方] オンライン申請支援システムを利用する方は次のプログラムをインストールし てください。

- ・オンライン申請支援システム
- Java Runtime Environment 6.0 Update18
- ・自己署名証明書の取得

■以前から利用されている方へ 旧バージョンの環境設定 CD-ROM をインストールしている場合は、第9章の内 容を確認した上で、環境設定プログラムをインストールしてください。

(4) 特殊車両オンライン申請システムのアクセス方法について

申請データを作成するための「オンライン申請支援システム」にて作成した申 請データは、「申請データ送信アプリケーション」を利用して、指定の国の特車担 当窓口に送信されます。オンライン送信される方は、このアプリケーションのダウ ンロードを以下の画面から行ってください。



(5) システムに関するお問い合わせ

システム操作に関するご不明な点等ございましたら、まず、**PR** サイトの「よく ある質問と回答」(<u>http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/</u>) のページを参照くだ さい。

サイト上でお求めの情報が見つからない場合は、「特車運用事務局」までお電話 もしくはメールにてお問い合わせください。

※ 特車システムでの推奨環境 (P8) 以外をご利用の場合は、サポートしておりません。



6-2-2. 各マニュアルの格納フォルダ(オンライン申請を行う方)

環境設定 CD-ROM をセットすると、オンライン申請を利用する際に必要となるソフトウェアのセットアップメニューが以下の通り表示されます。

まず、「各マニュアルの格納フォルダ参照」を押し、環境設定 CD-ROM のインスト ールマニュアルを確認ください。

「オンライン申請支援システムインストーラ」、「Java Runtime Environment 6.0 Update18」、「自己署名証明書の取得」の順にインストールを行ってください。詳しくは「6-3 各インストーラの実行手順について」をご覧ください。



(1) オンライン申請支援システムインストーラ

オンライン申請支援システムにおける帳票印刷プログラム等をインストールします。詳しくは「6-3-1 オンライン申請支援システムインストーラの実行」をご覧ください。

(2) Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストール

特殊車両オンラインシステムにおける Java Runtime Environment 6.0 Update18 をインストールします。詳しくは「6-3-2 Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストールの実行」をご覧ください。

(3) 自己署名証明書の取得

自己署名証明書の取得を行います。本インストールはオンライン申請を使用する上で必要なインストールです。従来のインターネット版を利用する方は、必要ありません。詳しくは「6-3-3自己署名証明書の取得」をご覧ください。

6-3 各インストーラの実行手順について

この章では、環境設定プログラムのセットアップメニューにある、各ボタンについて説 明します。

6-3-1 オンライン申請支援システムインストーラの実行

「オンライン申請支援システムインストーラ」を選択しインストールを実行します。 ※セットアップメニュー画面が起動されていない場合は、CD-ROM 中の「setup.exe」

- を実行してください。
- ※既にオンライン申請支援システムをインストールしている場合は第9章を確認してか らインストールして下さい。



※※既にオンライン申請支援システムをインストールしている場合の注意点※※

必ず Windows コントロールパネル内の「プログラムの追加と削除」より、「国土交通 省オンライン申請支援システム用ライブラリ」のアンインストールを実行してから、上 記インストールを実行してください。

(1) オンライン申請支援システムインストールの実行

① 以下のような画面が表示されますので、「次へ」を選択します。



② 「インストール」を選択します。

本インストールは、「C:¥Program Files 」及びレジストリへの登録を行います。 従って、インストールを実行する際にログオンした使用者の権限にて、C ドライ ブ及びレジストリへの書込みが禁止となっている場合は、システム管理者等へご相 談ください。

| 国土交通省 オンライン申請支援システム用ライブラリ | 平成22年2月版 セットアップ 🛛 🔀 |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。 | |
| [インストール]をクリックしてインストールを開始してください。 | |
| インストール設定を確認または変更する場合は、 [戻る]をツックします。 | ます。ウィザートを終了するには、[キャンセル]をクリックし |
| InstallShield | · 戻る(B) インストール キャンセル |

- (2) オンライン申請支援システムインストールの終了
 - インストールが正常に完了すると以下の画面が表示されますので「完了」ボタンを 選択します。

| 国土交通省 オンライン申請支援 | システム用ライブラリ 平成22年2月版 セットアップ |
|-----------------|---|
| | InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンピュータへ、国土交通省、オンライン申請支援システム用ライ ブラリ、平成22年2月版のインストールを終了しました。 |
| | < 戻る(B) 完了 キャンセル |

② インストール完了後、コンピュータのデスクトップに以下のアイコンが追加されている事を確認してください。



6-3-2. Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストールの実行

ここでは、Java Runtime Environment 6.0 Update18 のインストールについて説明します。

セットアップメニューから、「Java Runtime Environment 6.0 Update18」を選択します。

※ セットアップメニュー画面が起動されていない場合は、CD-ROM 中の「setup.exe」 を実行してください。



(1) Java Runtime Environment (JRE) インストール実行

使用許諾契約の画面が表示されますので、「使用許諾契約を表示」選択し、内容確認後、「インストール」を実行します。

| 🝘 Java セットアップ - ようこそ | × |
|---|---------------|
| Java A | Sun |
| Java(TM) へようこそ | |
| Java は素晴らしい Java コンテンツの世界への安全なアクセスを提供します。 ビジネスソリ ンから役に立つユーティリティーやエンターテイメントに到るまで、 Java はお客様のインターオ 験を真に実現します。 | ュージョ ネット(本 |
| インストールプロセスにおいて個人情報が収集されることはありません。 収集する情報の語 いては、http://java.com/data をご覧ください | 牟希田(こつ) |
| 使用許諾契約を表示 | |
| ライセンス契約に同意し、今すぐ Java をインストールする場合は、「インストール」をクリック さい。 | っしてくだ |
| □ インストール先フォルダの変更 キャンセル(C) (イン | 121-11(1)> |

※「使用許諾契約の画面」が表示されず、以下の画面が出力された場合は、既に Java Runtime Environment 6.0 Update18 がご利用コンピュータにインストールされて いますので「いいえ」を選択してください。



- (2) Java Runtime Environment 6.0 Update18 インストールの完了と設定
 - インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「閉じる」を選択してください。これでインストールは終了です。

| 🚽 Java セットアップ - 完了 | |
|--|-------------------|
| Java | Sun. |
| Java のインストールに成功しました。 | |
| 最新機能や改善されたセキュリティーを提供するために、 Java の更新版力 ンロードされます。これを変更する場合は、http://java.com/autoupdate を、 | 『自動的にダウ 二覧ください |
| | |
| | |
| | |
| | 開じる |

 ② [スタート]メニューより、[設定]-[コントロールパネル](クラシック表示)を 選択し、[Java]をダブルクリックしてください。



③ [アップデート]タブを選択し、「アップデートを自動的にチェック」のチェック をはずし、「適用」を選択し「了解」で閉じてください。

(※アップデートのタブの出ない場合は、Java 起動時に「更新する」「更新しない」等という選択を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は「更新しない」を選択してください。)

| 📓 Java 💷 🕹 🔲 – ルパネル 📃 🗖 🗙 | 🍝 Java コントロールパネル | |
|---|--|---|
| 基本 アップデート Java セキュリティ 詳細 | 基本 アップデート Java セキュリティ 詳細 | |
| アックデートの通知 | アップデートの通知 | |
| Java Update メカニズムを使えば、最新版の Java フラットフォームを確 実に入手することができます。以下のオブションを設定することで、最新版 の取得方法や適用方法に関する処理を制御することができます。 | Java Update メカニズムを使えば、最新版の Java 実に入手することができます。以下のオブションを訪 の取得方法や適用方法に関する処理を制御する | va ブラットフォームを確 設定することで、最新版 らことができます。 |
| 通知: ダウンロード前 💌 | 通知: ダウンロード前 | ✓ |
| アップデートを自動的にチェック ぼ 細(①)… ぼ 細(①)… | □ アップデートを自動的にチェック | 詳細(D) |
| Java Update は毎月 11 日の 22:00 に最新版を確認します。 利用可 能な場合はシステムトレイにアイコンが表示されるので、カーソルをアイコン 上に移動して状況を確認します。最新版がダウンロードされる前に通知 されます。 | 最新版を確認するためには「今すぐアップデート」オ 用可能な場合はシステムトレイにアイエンが表示さ イコン上に移動して状況を確認します。 | なンをクリックします。利 れるので、カーソルをア |
| | 更 | |
| | (今 (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) | ・すぐアップデート(U) ©消し 通用(<u>A</u>) |

以上でインストールは終了です。

6-3-3. 自己署名証明書の取得

ここでは、自己署名証明書の取得について説明します。なお、自己署名証明書の取得は、オンライン申請を行う方を対象にしております。

本システムを利用して特殊車両の申請を行うためには、政府が発行する安全な通信を 行うために必要な証明書(自己署名証明書)を取得し、利用するブラウザ環境上に登録 する必要があります。

(1) 自己署名証明書の取得を起動

オンライン申請セットアップメニュー画面から、「自己署名証明書の取得」を選択します。



(2) 証明書の確認

自己署名証明書の取得を起動すると、以下の画面が表示されますので、「詳細」タブ を選択し、「拇印」フィールドの値(フィンガープリント)を以下のいずれかの方法で 確認してください。

○ 政府認証基盤(GPKI)のサイトで確認する
 https://www.gpki.go.jp/selfcert/finger_print.html

アプリケーション認証局の自己署名証明書のフィンガープリントのフィンガー プリント番号(サイト画面の英字は大文字記載)と下図の拇印番号を確認します。

○ 官報で確認する

政府認証基盤におけるアプリケーション認証局の自己署名証明書のフィンガー プリントは官報第4774 号(平成20年2月25日)に公示されています。

| | 証明書 | | ? 🛛 |
|---|--|---------------------------------|------------------|
| | 全般 詳細 証明のパス | | |
| | 表示(<u>S</u>): 〈すべて〉 | ~ | |
| | フィールド | 値 | <u>^</u> |
| | ───────────────────────────── | RSA (2048 Bits) | |
| | 🚾 サブジェクト キー識別子 | 54 5a cb 26 3f 71 cc 94 46 0 | |
| | 1 100000000000000000000000000000000000 | Directory Address:OU=アプリケ | |
| | 使用法 | Certificate Signing, Off-line C | |
| | 基本制限 | Subject Type=CA, Path Lengt | |
| | 一 母印アルゴリズム | sha1 | |
| | ~] 提印 | 7f 8a b0 of d0 51 87 6a 66 f3 | × |
| < | 7f 8a b0 cf d0 51 87 6a 66 f3 36 | Of 47 c8 8d 8c d3 35 fc 74 | |
| | | (プロパティの編集(E)) ファイルにコピ | - <u>©</u> OK |

フィンガープリントの確認は、入手した証明書が確かに政府によって発行され たものであることを確認するために必須の手順ですので、必ず実施してください。

- (3) 証明書のインストール
 - ① 全般タブを選択し、「証明書のインストール」を選択します。

| 証明書 ? 🛛 | | | | |
|---------|-------------------|---------------------------------|-------------------------|--|
| 全般 | 全般 詳細 証明のパス | | | |
| | 証明書の情報 | | | |
| - | この証明書の目 | ካ: | | |
| | • すべての発 オップスのア | 行ポリシー | | |
| | • ¶~(0) | フリケーション ホリント | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | 発行先: | ApplicationCA | | |
| | 発行者: | ApplicationCA | | |
| | 有効期間 | 2007/12/13 から 2017/12/13 | | |
| | | 証明書のインストールの) | 発行者のステートメント(<u>S</u>) | |
| | | | ОК | |

② 「証明書のインストール」を選択すると以下の画面が表示されますので、「次へ」 を選択します。



③ 「次へ」を選択すると証明書ストアの配置方法選択画面が表示されますので、「証 明書をすべて次のストアに配置する」をチェックし「参照」ボタンを選択します。

| | 証明書のインボート ウィザード | R |
|-------------------------------|---|--------------------|
| | 証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。 | |
| 「証明書をす~ ストアに配置・ チェックをしま | Windows (ご証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。 ご証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(小) ご証明書をすべて次のストアに配置する(P) ご可書ストア: 参照(P) ご可書ストア: 参照(P) ジロ 古 う 」に す。 | 「参照」ボタンを 選択します。 |
| | (戻る(B) 次へ(M) > キャンセル | |

④ 「参照」ボタンを選択すると証明書ストアの配置先選択画面が表示されますので、 「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」ボタンを選択します。

| 証明書ストアの選択 | ? 🗙 |
|--|-----|
| 使用する証明書ストアを選択してください(<u>C</u>) | |
| 個人 信頼されたルート証明機関 エンタープライズの信頼 中間証明機関 信頼された発行元 信頼されていない証明書 | |
| □物理ストアを表示する(S) OK キャ | ンセル |

⑤ 「0K」ボタンを選択すると証明書ストアの配置方法選択画面に戻ります。証明書 ストアに「信頼されたルート証明機関」と表示されている事を確認し、「次へ」を 選択します。

| 証明書のインボート ウィザード 🛛 🗙 |
|--|
| 証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。 |
| Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。 |
| ○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(型) |
| ● 証明書をすべて)なのストア(ご配置する(P) |
| 証明書ストア: |
| 信頼されたルート証明機関 |
| |
| |
| |
| |
| |
| < 戻る(B) (次へ(M) > キャンセル |

- (4) 説明書のインストール完了
- ② 以下の画面が表示されれば、自己署名証明書の取得は完了ですので、「完了」ボタンを選択します。

| 証明書のインボート ウィザード | | |
|-----------------|--|--|
| | 証明書のインポート ウィザードの完了 | |
| | 証明書のインポート ウィザードが正常に完了しました。 、かの設定が指定されました。 | |
| | ユーザーが選択した証明書ストア 信頼されたルート証明機関 内容 証明書 | |
| | < 戻る(B) 完了 キャンセル | |

③ 「完了」ボタンを選択すると、OS の環境によってはセキュリティ警告画面が表示 される場合があります。内容を確認し問題なければ「はい」ボタンを選択します。

| セキュリティ | /警告 |
|----------|--|
| | 発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとしています: |
| <u> </u> | ApplicationCA |
| | 証明書が実際に "ApplicationCA" からのものであるかどうかを検証できません。 "ApplicationCA" に連絡して発行者を確認する必要があります。 次の番号はこの過程で役立ちます: |
| | 損印 (sha1): 7F8AB0CF D051876A 66F3360F 47C88D8C D335FC74 |
| | 警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動的に信頼されます。確認されていない提印付きの証明書をインストールす ることは、セキュリティ上、危険です。【はい】をクリックすると、この危険を認識したことになります。 |
| | この証明書をインストールしますか? |
| | |

④ 「はい」ボタンを選択するとインストール完了画面が表示されます。「OK」を選択 します。



自己署名証明書の確認

ここでは、安全な通信の設定が正しく行われ、接続先が確かに国土交通省であることを確認します。

5 インターネット接続を行い、デスクトップ上にあるショートカットより、申請支 援システムにアクセスします。



または、右クリックから「開く」を選択します



 ⑥ 以下の画面が表示されたら、ブラウザの右下または画面上の方に表示されている 鍵マークをダブルクリックします。



⑦ 鍵マークをダブルクリックし、開くと以下の証明書画面が表示されますので、発行者の部分に「Application CA」と表示されていることを確認します。

| ↓ 証明書 ? 🗙 | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 全般 詳細 証明のパス | | | |
| 記明書の情報 | | | |
| この証明書の目的: | | | |
| ・リモート コンビュータ(J) IU を1未計する | | | |
| | | | |
| *詳細は、証明視期のステートメントを参照してください。 | | | |
| 発行先: www.tokusyaktr.mlit.go.jp | | | |
| 発行者: ApplicationCA | | | |
| 有効期間 2008/08/22 から 2011/08/21 | | | |
| | | | |
| [証明書のインストールQ] 発行者のステートメント(S)] | | | |
| OK | | | |

以上で接続先が間違いなく国土交通省であり、安全な通信が行われていることが確認できました。

6-3-4. Java の設定

ここでは、Java の設定を行います。

- (1) ルート証明書の設定
 - ① Windows の [スタート] メニューより、[コントロールパネル] (クラシック表示) を選択し、[Java] をダブルクリックします。



② 以下の画面が表示されたら、メニューバーの[セキュリティ」タブを開き、「証明書」 を選択します。



③ [ユーザ]タブを選択し、「インポート」を選択します。(既に⑤画面が表示される場合 は、⑤から確認します。)

| 至明書 | × |
|---------------------------------|---|
| 正明書タイプ:「信頼できる証明書 | ~ |
| ユーザリステム | |
| 発行先 発行元 | |
| | - |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| インポートの エクスポート(E) 削除(M) 詳細(D) | |
| | |

④ 自己署名証明書が保存されている"APCAroot.der"ファイルを選択します。
 環境設定 CD-ROM の場合は、CD-ROM ドライブの"disk2"フォルダ内より指定をして「開く」ボタンを選択します。ファイルタイプは「すべてのファイル」を選択します。

PR サイトから環境設定プログラムをダウンロードした場合は、"Installer.exe"の 解凍後に作成される"Installer"フォルダの中の"disk2"フォルダ内より指定をして、 「開く」ボタンを選択します。ファイルタイプは「すべてのファイル」を選択し ます。

| ≜ ≣K | | ĸ |
|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 参照 | 🤹 🛅 disk2 🔮 🦻 📰 🚍 | |
| していていています。 最近使ったファ イル | APCAbat | |
| じ デスクトップ | | |
| ک ۱۲۶۲ ۲۶ | | |
| ער בארב אד | | |
| ر-رא د ג גע ג-رא גע | ファイル名: ファイルタイブ: 【すべてのファイル マ 取消し | |

⑤ 次に以下の画面が表示されますので、「詳細」を選択します。

| 証明書 | |
|---|---|
| ■ 証明書タイプ: 「信頼できる証明書 | ~ |
| <u>ユーザ システム</u> | |
| 発行先 発行元 | |
| Japanese Government ApplicationCA Japanese Government ApplicationCA | |
| | |
| | ~ |
| | |
| (開しる) | 2 |

⑥ 「詳細」を選択すると、以下の画面が表示されますので、「有効性」を選択し、内容 を確認後、「閉じる」を選択します。

※日本語表記の場合もありますが、日付等が同じであれば、問題ありません。

| 詳細 - 証明書 | | × |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|
| Japanese Government (Japanese (| フィールド | 値 |
| | バージョン | V3 |
| 「「有効性」 | ンリアル番ち 署名アルゴリズム | [49] [SHA1withBSA] |
| | 光行者 | OU=ApplicationCA, O=Japanese Governm |
| | 有効性 | [From: Thu Dec 13 00:00:00 JST 2007, To: |
| | 2012년 11 1922년 | 000-20 60 44 76 77 29 20 50 02 67 4 |
| | 増石 | 0000. 39 0H 44 70 77 30 3H EO H3 07 4 |
| | [From: Thu Dec 13 00:00:00 JST 2007 | , |
| | To: Wed Dec 13 00:00:00 JST 2017] | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| < | | |
| | | |

⑦ 「閉じる」を選択すると以下の画面が表示されますので、「了解」ボタンを選択して 設定画面を閉じます。



(2) Java のバージョン設定

ここでは、申請データ送信アプリケーションが、インストールした Java Runtime Environment 6.0 Update18 で動作するように設定を行います。

 コントロールパネルの [Java] を選択し、設定画面の「Java」を開き「Java アプリ ケーションのランタイム設定」の「表示」を選択します。

| 📓 Java コントロールパネル 📃 🗖 🗙 |
|--|
| 基本 アップデート Java セチュリティ 詳細 |
| Java Runtime Environment 設定 Java アプリケーションとアプレットの Java ランタイムバージョンと設定を表示および管理 |
| する |
| |
| |
| |
| |

② 「プラットフォーム」が「1.6」、「製品のバージョン」が「1.6.0_18」が有効になって いることを確認します。

他に Java 製品が混在する場合は、他の製品からは「有効のチェックをはずして」ください。了解を選択して設定画面を閉じ、Java を終了します。

| | 🕌 Java Runtime Environment 設定 | × |
|---|---|---|
| | ~Java ランタイムのバージョン | |
| | ユーザ システム | _ |
| | プラットフ 製品 場所 パス ランタイムパラメータ 有効 | |
| ¢ | 1.6 1.6.0_18 Dtp://java.su C:¥Program Files¥Jav | |
| | ※※注意※※ 他のバージョンをインストールされている場合は、異なるバージョンのものが 多数表示される場合があります。 不要な場合は第9章を参考にしてアンインストールをお勧めします。 | |
| | 検索(F) 追加(A) 削除(B) 了解 取消し | |

以上で Java の設定は終了です。

■ (参考) プロキシの設定をする場合 (パソコン使用環境によります)

ご利用されているインターネットへの接続環境が、プロキシサーバ経由の設定である場合にのみ、この操作を行います。

自社のネットワークがプロキシを使用しているかどうかは、自社のネットワ ーク管理者等に確認してください。プロキシの設定値については、ご利用の ブラウザの設定を確認するか、自社のネットワーク管理者等に確認してくだ さい。**※運用事務局ではサポートしていません。**

□プロキシを使用する。のチェックボックスにチェックを入れる。
 →アドレス: 環境に応じたアドレスを半角英数字で入力します。
 →ポート: 環境に応じたポート番号を半角数字で入力します。

→プロトコル: 下向き▼マークから該当するプロトコルを選択します。

以上で申請データ送信アプリケーションのインストール及び設定は終了です。

7 Internet Explorer 利用時の設定

Microsoft Internet Explorer の設定を行います。(バージョンにより多少画面が異なりま すことをご了承下さい。)

7-1 Internet Explorer の起動

Internet Explorer を起動し、メニュ ーバーの [ツール] – [インターネット オプション] を選択し、詳細設定のタブ を選択します。

次に、可能な場合は「詳細設定を元に 戻す」もしくは「既定値に戻す」を選択 し、インターネットオプションの設定を 標準にします。

設定を戻して良いかどうかの判断は ご自身にてお願いします。



7-2 HTTP1.1 の設定の変更

設定を標準に戻しましたら、 "HTTP1.1 設定"の HTTP1.1 を使用する "のチェックボックスにチェックが入っ ていた場合は、チェックをはずします。



7-3 Java Runtime Environment の設定

詳細設定内項目のJRE 1.6.0_18 を使用(再起動が必要)のチェックボックスにチェ ックを入れ(インストール直後は必ずチェックが入っています。)、「OK」を選択し、イ ンターネットエクスプローラを終了します。

| インターネット オブション ? 🔀 |
|---|
| 全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 |
| 設定 HTTP 1.1 設定 HTTP 1.1 設定 HTTP 1.1 を使用する Java Sun) ✓ sapplet / に JRE 1.6.0_18 を使用 (再起動が必要) ✓ sapplet / に JRE 1.6.0_18 を使用 (再起動が必要) ✓ sapplet / に JRE 1.6.0_18 を使用 (再起動が必要) |
| ● メイン ウィンドウに検索結果を表示する ● 自動検索プロバイダー(こ不明のアドレスを送信しない) ● インターナショナル* ● IDN サーバー名を送信する ■ mailto リンクで UTF-8 を使う ● UTF-8 の URL を送信する ■ イントラネットのアドレスには IDN サーバー名を送信する ● イントラネットのアドレスには IDN サーバー名を送信する |
| *Internet Explorer ()再開設に有効になります。 詳細語定を元(: 戸す(B) |
| Internet Explorer の設定をUセットします Internet Explorer の設定を既定の状態(Uセットします。 リセット(S) |
| ファフリール・TrackAtAtasticaのだめ言にとれてきていたという OK キャンセル 適用(A) |

※ 一度インターネットエクスプローラを終了しないと設定は有効になりません。

以上でオンライン申請システムのインストール及び環境設定は終了です。

8 システムの起動

8-1 各種マニュアルについて

各種マニュアルについてはデスクト ップ上の「各マニュアルの格納フォルダ へ」ショートカットアイコンをダブルク リックします。



8-2 申請データの作成を行う方

申請データの作成を行う方は、デスク トップ上にある「申請支援システム」の ショートカットをダブルクリックしま す。



8-3 オンライン申請を行う方

オンライン申請を行う方はデスクト ップ上にある「特殊車両 PR サイト」の ショートカットをダブルクリックし、 PR サイトにある「申請データの送信」 をクリックします。



9 アンインストール(プログラムの削除)

旧バージョンのプログラムを使用の場合には、アンインストールをしてください。

🌉 ×モ帳

荡 秀丸

K TeraPad

Microsoft Office Word 2003

לעסל אעקב 📶

9-1 申請支援システムのアンインストール

- (1) <コントロールパネルの表示> [スタート]メニューより、 [コントロールパネル]を 選択します。
- ② <プログラムの追加と削除>
 「プログラムの追加と削除」をダブル クリックします。



יאר בארב 😼

😪 接続①

😂 プリンタと FAX

(2) ヘルプとサポート(日)

ファイル名を指定して実行(R).
 HP サポート

プログラムのアクセスと既認

コンピューらり、ネットワ

③ <アンインストール> 「プログラムの追加と削除」画面から 「国土交通省オンライン申請支援シス テム用ライブラリ」(もしくは「国土交 通省オンライン特車システム用ライブ ラリ)を選択して、「削除」を選択しま す。

| 0709540i | 自加と削除 | | |
|---------------------|---|-----------------|---------|
| 5 | 現在インストールされているプログラム 三 更新プログラムの表示 ① | 並べ替え(S): 名前 | ~ |
| フログラムの 変更と形成率10 | Provider for .NET Help | サイズ | 1.36MB |
| | 😽 SigmaTel Audio | サイズ | 10.74MB |
| 10.50 | Skype(TM) 3.8 | サイズ | 30.55MB |
| iBhu(N) | Symantec AntiVirus | サイズ | 88.47MB |
| 4 | ver TortoiseSVN 1.4.8.12137 (32 bit) | サイズ | 20.09MB |
| <u> </u> | UTF-8 TeraTerm Pro with TTSSH2 | サイズ | 9.66MB |
| Windows リンボーネントの | TrtualComPort2 Ver 3.5 | サイズ | 1.79MB |
| CONCHINE (D) | Windows XP Service Pack 3 | | |
| | See WinRAR アーカイバ | サイズ | 3.75MB |
| プログラムの | 9 WinSCP 41.6 | サイズ | 7.09MB |
| アクセスと 既定の設定(0) | 🙀 Xmanager 1.3.9 | サイズ | 14.04MB |
| | 産 コロ助 - ステップ数カウンタ | サイズ | 3.29MB |
| | 同日主交通省 オンライン申請支援システム用ライブラリ 平成20年11月間 サポート法協も参照する(は、ここをクリックしてください。 マレベットからにかつかざり、A面積かないは 面積1をクロットしてくだかい。 | 917 | 1.90MB |
| | 留線軟損音輸入法 | 9 1. | 27.31MB |

- ④ <アンインストールの確認>
 「削除の確認」画面が表示されます。
 「はい(Y)」を選択します。
- ⑤ <アンインストールの実行> 国土交通省オンライン申請支援システ ム用ライブラリのアンインストールが 実行されます。

| 国土交通省 オンライン申請支援システム用ライブラリ 平成20年11月版 セットアップ | \times |
|--|----------|
| 選択したアフツケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか? | |
| (tu) | |



 ⑥ <アンインストールの完了>
 アンインストールの完了後、正常に終 了すると左の画面が出力されますので、
 「完了」を選択します。



以上で、アンインストールは完了しました。

9-2 Java Runtime Environment のアンインストール

ここでは、本アプリケーションが使用している Java の実行環境である Java Runtime Environment をアンインストールする手順を説明します。Java Runtime Environment の アンインストールは他のアプリケーションが Java を使用していないことを十分に確認し て行ってください。他のアプリケーションがこれらの Java Runtime Environment を使用 している場合は、アンインストールは、各自の責任において行ってください。それらのア プリケーションが正常に動作しなくなる可能性があります。

(1) Java Runtime Environment 5.0 Update12 (旧バージョン)のアンインストール (例 Windows XP)

- (1) <コントロールパネルの表示> [スタート]メニューより、[コントロールパネル]を クリックします。
- ② <プログラムの追加と削除>
 「プログラムの追加と削除」
 を選択します。





③ <アンインストール>

「プログラムの追加と削除」画面から 「J2SE Runtime Environment 5.0 Update12」を選択し、削除を押しま す。



- ④ <アンインストールの確認>
 「削除の確認」画面が表示されます。

 画面の注意事項を十分に確認して、
 「はい(Y)」を選択します。
- ⑤ <アンインストールの実行> Java Runtime Environment の アンインストールが実行されます。
- ⑥ <アンインストールの実行> アンインストールの完了後、 画面が自動的に閉じられます。
 - アンインストールは完了しました。



| J2SE Runtime Environment 5.0 Update 12 |
|---|
| Windows IC J2SE Runtime Environment 5.0 Update 12 を設定しています。しばらくお待ちください。 |
| 必要な情報を集めています… |
| |

9-3 申請データ送信アプリケーションのアンインストール

ここでは、申請データ送信アプリケーションのアンインストールする手順につ いて説明します。送信アプリケーションはパソコン環境によってはアンインスト ールせずとも起動する場合があります。アンインストールする前に、「6-3-2 Java Runtime Environment 6.0 Update18 をインストール」して、送信アプリケーシ ョンの起動確認を確認してください。

この送信アプリケーションをアンインストールすると、特殊車両オンライン申 請に使用した「申請データ」や、「到達確認シート」、「許可証ファイル」などCド ライブの tokusha 内のフォルダも削除されます。

アンインストールを実行する場合は、必要に応じバックアップを取った後、行 ってください。(⑥参照)

(1) <コントロールパネルの表示>
 [スタート] メニューより、[設定] - [コントロールパネル]を選択します。



 <Java コントロールパネルの起動> 「Java」を選択します。



③ <一時ファイルの設定>

「Java コントロールパネル」画面から、インターネット一時ファイル欄の「設定」を 選択します。

| 姜 Java コントロールパネル | |
|------------------------------------|---------------------|
| 基本 アップデート Java セキュリティ 詳細 | |
| 製品情報 | |
| Java コントロールパネルについてのバージョン情報を表示 | ನ್ನಿಕರಂ |
| | |
| | |
| | バージョン情報(B) |
| | |
| - ネットワーク設定 | |
| ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトで | は、Java は Web ブラウザの |
| 不外り一つ おえたをはた用しより。これのの話えたを表定しる | 20018-TWXT-27501639 |
| | |
| | + 10 1-100 (I) |
| | |
| - インターネットー・時ファイル | |
| Java アプリケーションで使用されたファイルは、次回すは | やく実行できるように特別な |
| フォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更 けです。 | 更を行えるのは 上級ユーザだ |
| | |
| | |
| ファイルの削り | 除(D)(|
| | |
| 了解(<u>0</u>) | 取消し(2) 道用(4) |
| | |

④ <アプリケーションの表示>
 「一時ファイルの設定」画面が表示され、「アプリケーションの表示(V)」を選択します。

| 一時ファイルの設定 | | × |
|-----------------|----------------------------------|-----------------|
| ファイルの肖耶余(0) | アブリケーションの表示(V) アブレットの | 表示(<u>A</u>) |
| 設定 | | |
| キャッシュの場所: | n Data¥Sun¥Java¥Deployment¥cache | ē更(<u>H</u>) |
| 使用するディスク容 量: | ◎ 無制限 ○ 上限値 MB ▼ | |
| JAR 圧縮: | | 高 |
| | | 取消し(<u>C</u>) |

⑤ <選択したエントリの削除>

「Java アプリケーションキャッシュビューア」画面が表示され、2つの「特殊車両オンライン申請」を選択し、「選択されたエントリの削除(R)」を選択します。

| A A A A A A A A A A A A A A A A A A A | THE TRUE AT LODA | 7210100-010 | 2000 (00 (20 | 71A | 収肥 |
|---------------------------------------|----------------------|-------------|--------------|--------|----|
| | 国土交通省、All rights res | 54759 | 2000/02/22 | 680 KB | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

⑥ <ファイルの場所>

Java Web Start をインストールしたドライブの直下に、「tokusha」フォルダが 存在し、その配下に本アプリケーションで使用したファイルが保存されています。 (例:「C:¥tokusha」です。)

